

Saudi National Day (建国記念日)

9月23日はサウジアラビアの建国記念日であり、1932年の建国以降、今年で第89回目を迎えた。近年の建国記念日は、国を挙げて盛大に祝福されており、昨年2018年は、世界最大規模となるシルク・ドゥ・ソレイユの公演や、20都市58カ所に及ぶ花火の打ち上げ等、大規模なイベントが開催された。また、今年は9月19日～23日を“Saudi National Day Season”と設定し、5日間で40を超えるイベントを開催、370万人を超える人が参加した。

サウジアラビアの建国

サルマン国王の父親、アブドゥルアジーズ初代国王が、1902年、マスマク城を舞台にラシード家よりリヤドを奪回したことに始まり、1932年に第3次となるサウジアラビア王国が建国された。建国以降、アブドゥルアジーズ初代国王の子供にて王位が引き継がれており、現在のサルマン国王は7代目の国王となる。

日系企業の活躍 - STAR ISLAND -

今年の建国記念日には、大きな目玉の一つとして、日本のエイベックス(株)の未来型花火エンターテインメント「STAR ISLAND」がジェッダで催された。花火に加え、最先端テクノロジーである3Dサウンド



(日・サウジ・ビジョンオフィス・リヤド撮影)

やショーパフォーマンスを用いた構成の中に、日本を感じさせる演出や、サウジ伝統の剣の舞が組み込まれた迫力あるエンターテインメントショーとなった。国内のテレビでも中継される等、建国記念日の祝福を後押しすると共に、日本とサウジアラビアの両国間の協力においても象徴的なイベントとなった。

垣間見えたサウジアラビア人の底力と一体感

今年の建国記念日には、若者を中心としたサウジアラビア人の底力と一体感を垣間見ることができた。娯楽庁は、Saudi National Day Seasonの運営に携わった8,230名のうち91%はサウジ人であったと発表している。5日間に渡るイベントを大きな滞りなく運営し、自分達で建国記念日を盛り上げていこうとするサウジ人の底力を感じると共に、国旗を掲げ夜遅くまで建国記念日を祝福している様子からは、サウジ人の一体感を感じることができた。

「STAR ISLAND」の事前準備においても、種々の苦労があり、サウジの改革の必要性を感じさせるものであったが、建国記念日で垣間見えた国民の底力と一体感を土台として、Vision2030の実現に向け、新たな挑戦とその経験の蓄積で、改革が進むことが期待される。(2019年9月)

お問合せ先

日・サウジ・ビジョンオフィス・リヤド

Address: 5th Floor, Council of Saudi Chamber Builg, Riyadh 11614

Tel: +966-11-219-9155 E-mail: infovo@sj-visionoffice.jetro.go.jp

Website: <https://www.jetro.go.jp/sj-visionoffice/>